



特集
スクールバスに乗ってみた

ポニーに乗って公園を散策

6月8日、大山自然公園ユリまつりに1日限定でポニーのヤギオくんが登場しました。訪れた子どもたちは、ヤギオくんに乗って大山自然公園を楽しそうに散策していました。(8ページに関連記事)

平成26年

7

No.641

Hakuryou - Yanagawa

午前10時50分、柳川温泉行のスクールバス3号車に乗り込む若手職員たち。全行程18.7km、時間にして約40分、料金はどこで降りても100円の小さな旅が始まる。

特集

バスで巡る小さな旅 スクールバスに乗ってみた

山形県で6回目となる、ステイネーションキャンペーン（以下DC）が、6月14日にスタートした。今回のDCでは東日本大震災の影響で減少した観光客を呼び戻そうと、全県でさまざまなイベントがおこなわれている。大江町も例年以上に多彩なイベント予定しており、気分十分だ。

そんな中、若手職員である私たちに上司から業務命令が下った。「DCに向けて大江町の魅力を実際に見て回り、勉強してこい」何とも心躍る命令だ。ただ、限られた時間の中では、数多い町の魅力から要点を絞る必要がある。「どれにすべきか」。その時、JR左沢線と並んで町の重要な交通機関であるスクールバスの利用を思いついた。

今月は私たちが、スクールバスを利用して見つけた、沿線上の魅力的な場所や歴史を紹介します。



18.7 km
柳川温泉前
テルメ柏陵



3号車

平成13年に購入。定員数は36人で、両替機が搭載されている。3号車は1年を通して路線バスとして運行されている。



2号車

平成18年に購入。定員数は28人で、車上に電光表示がある。四輪駆動のため、主に冬期間運行される。

町民の生活を支える2台のバス

路線バスなのに、

スクールバス？

大江町のバスは、路線バスなのに「スクールバス」の名称がついている。

疑問に思ったので、担当の先輩に理由を聞いてみると、元は別々に運行していた路線バスとスクールバスを平成15年に統合したからとのこと。今は、スクールバスが路線バスも兼ねる形で運行しているそうだ。

町が現在保有している車両は5台（バス4台、ワゴン車1台）あり、そのうち2・3号車が路線バスとして利用されている。特徴は上記のとおりだ。

今回は先輩のアドバイスを、町民の方が多く利用する、テルメ柏陵発10時50分発の便に乗ることになった。

出発

乗車前にテルメ柏陵エリアを散策、7月20日にリニューアルオープンを予定しているテルメ柏陵健康温泉館や道の



▲リニューアルしたテルメ柏陵健康温泉館の浴室棟

◀「おしん」のロケ地となった大明神

道の駅のラフランスソフトクリーム▶

①テルメ柏陵エリア

10:50

テルメ柏陵荘 (出発)

町内で最も多くの観光客が訪れるエリアが、テルメ柏陵です。3つの温泉施設があり、源泉かけ流しで、全国でも珍しい高濃度の温泉として知られています。別名「若さの湯」と呼ばれており、糖尿病・神経痛・筋肉痛・慢性婦人病などに効果があります。

温泉施設の隣には小鵜飼船の形をしたランドマークが特徴の、道の駅おおえがあります。地元生産者が直接持ち寄った新鮮な野菜や果物、加工品の直売や軽食コーナーがあります。

近くを流れる最上川の河畔（大明神）はNHKドラマ「おしん」のロケ地として知られ、現地には当時の様子を説明する看板が建てられています。





駅をおえ、おしんのロケ地を巡った。その後、早めにバスに乗車し出発を待つ。運転手はこの道38年の大ベテラン渡辺秀一さんだ。

経路は基本的に、国道や県道、それに隣接する集落の中を通る形で設定されており、さらに、役場前から柳川温泉までは停留所の他にも、沿線上で手を挙げればその場で乗車することが可能だ（ただし、見通しの悪いカーブや交差点付近では乗車不可）。

また、下車する時も座席の横にあるボタンを押せば、付近の安全な場所で降りることができる。

11時01分、小漆川停留所に到着、この地は江戸時代に左沢藩主の酒井直次が、小漆川

スクールバスとともに38年

運転手 渡辺秀一さん(梨の木原)



昭和51年にスクールバスが運行されてから、ずっと運転してきました。以来たくさんのお客様と顔なじみになり、世間話などをしながら、楽しく運行させてもらっています。利用される方は、車の無い方や運転できない方が多く、目的は郵便局、銀行、医者、温泉などさまざまです。この38年で道路は整備され、車の行き来がしやすくなりましたが、必要とされる方がおられる限り運転を続けていきたいですね。

城を築城した場所として知られている。

停留所の坂を上ったところにある巨海院は直次の菩提寺でもあり、敷地内には小漆川

城の城門であったという山門が移築され、当時の様子を今に伝えていて。また、次の停留所である中央公民館の敷地内には、歴史民俗資料館があり、町の歴史にふれることができる。

11時11分、旧道沿いにある十八才停留所に到着。付近の県道沿いには採りたての山菜や野菜などを販売する小倉交流館がある。ここでは、地場産品の他にも、旬の食材を生かして作る「若返りランチ(要予約)」を味わうことができる。11時18分、県道から右折し、貫見の集落に入る。貫見区は、中世にこの地を治めていた大江氏の終焉の地でもある。区内にある御館山頂上には1584年に最上義光の軍勢

11:01

小漆川〜中央公民館前



▲巨海院山門



▲歴史民俗資料館

②小漆川〜中央公民館エリア

巨海院の敷地内には小漆川城の城門とされる山門が移築されており、また寺内には舟運時代を偲ばせる絵馬なども奉納されています。

歴史民俗資料館は十郎畑の旧家で、青苧商、養蚕農家である斎藤家を移築したものです。館内には、民具や農具、青苧に関するさまざまな展示物を見ることができます。

11:18

貫見東〜貫見局前〜貫見

③貫見エリア



▲光学院

貫見は近世まで約400年にわたってこの地を治めた大江氏が終焉を迎えた地で、集落内には御館山をはじめ大江氏および家臣ゆかりの遺跡・遺物が残されています。

また、湯殿山行者の宿泊地でもあり、明治頃までは、米沢や福島、遠いところでは関東などから多くの行者が訪れました。



に追われ、この地で自刃した18代大江高基の墓がある。また、貫見停留所から坂を登った先にある曹洞宗光学院には、高基が自刃した時に使用したとされる短刀が大切に保管されている。

11時24分、月布川が迫る巻の曲がりくねった道を通り過ぎると、沢口の集落内に入るとは、本郷地区に入ってから車窓から随所で月布川を見られるということだ。このことから本郷地区、七軒地区の集落は、月布川およびその支流

に沿って集まっていることが実感できる。

江戸時代、月布川周辺には、大江町から日本全国に出荷された特産品の青苧が栽培されていた。青苧から採れる繊維は通気性に富んでおり、袷など高級反物の原糸として使用され、特に大江町産は最上ものとして取引されていた。それが左沢の川港から出荷され、町の発展につながっていった。今でも沿線には自生している青苧を見ることが出来る。

11時29分、木造の待合所が目印の沢口停留所や、今年宿泊施設に改修を予定している

旧七軒西小学校前を通り、終点の奥おおえ柳川温泉前に到着する。硫黄の匂いが温泉地ということを物語っている。停留所の隣にある足湯コーナーで休憩している利用者の方は「山形市から来ました。ここは静かで、ゆっくりとした時間が流れています。特に朝風呂が気に入っています。定期的に利用しています」と満足そうに話してくれた。

バスの旅を終えて

スクールバスの旅は、短時間ながら、町の魅力的な歴史や観光スポットにふれることができ、予想以上に密度の濃いものだった。

また、利用者や運転手さんからは「おはよう」「今日はどこさいぐなや？」など声を掛けられ、スクールバスには利用しやすい雰囲気があることも知った。

バスは日曜日、祝祭日、お盆、年末年始を除いて運行している。しかもどこで降りても片道100円だ。皆さんもぜひご利用ください。

⑤柳川エリア

11:29

柳川温泉前 (終点)



◀ 自然豊かな露天風呂

柳川温泉は「熱の湯」と呼ばれ動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病に効果があります。

2種類の内風呂と露天風呂があり、特に露天風呂では、昼は四季折々の景色を、夜は満天の星空を見ることができます。



④沢口エリア

11:24

沢口く西小学校前

沢口を含む周辺の地域は昔、青苧の中でも特に品質の良い七軒苧の生産地でした。バスの沿線には今でも自生している青苧を見ることができます。

地区内の旧七軒西小学校は、今年宿泊施設への改修を予定しています。

木造の待合所は地元の方が作成したものです。



▲沿線上に自生する青苧 (沢口)

◀旧七軒西小学校



魅力的な資源を生かした活用方法を検討 ～旧七軒西小学校利活用を考える会～

今秋、宿泊施設に改修を予定している旧七軒西小学校で5月30日、改修後の活用方法を検討する「旧七軒西小学校利活用を考える会」がおこなわれ、学校周辺の地区などから22名が出席しました。

はじめに利活用の概要として、七軒地区の山里が持つ豊かな資源を生かしたプログラム、対象となる利用者層などの説明があり、続いて出席者から意見をいただき旧校舎の現状を確認しました。

出席者からは「七軒地区ならではの自然を眺めながら、コーヒーを飲むなどおしゃれな場所にしてもよい」「林業や山々の生物観察会など、他では実施していないような個性的なプログラムを提供することで、他と差別化を図る必要があるのでは」などの意見が出されました。



◀意見交換後は小学校内の各部屋の状況を確認しました

入国審査の手続きを体験 ～中学生海外派遣事業事前研修会～

アメリカモンタナ州訪問に向けて、6月2日から渡航時に必要な知識、技能を身に付ける事前研修会が始まりました。

6月2日は入国審査の研修がおこなわれ、必要な書類の書き方やスーツケースの大きさなど、空港での注意事項を教わったほか、入国審査の練習もあり、生徒たちは「滞在期間は？今までここに来たことがありますか？」と英語で質問されるとマニュアルを参考に、英語での答え方を何度も練習しました。

また、6月9日には健康管理や荷造りを学び、飛行機搭乗時の静脈血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）を予防する体操やトランクに効率的に荷物を詰める方法を教わりました。



▲入国審査時に必要となる英会話を何度も練習

荷物の詰め方も学習▶



絵を描いて魅力を発見 ～重要文化的景観ワークショップ～

重要文化的景観に関するさまざまな体験を通じて、理解を深めるワークショップが6月8日、町民ふれあい会館で開催されました。

当日は、東北芸術工科大学の志村直愛教授指導のもと、重要文化的景観のイラスト作成に挑戦しました。参加者は、あらかじめ用意された景観の写真を参考に、色鉛筆や絵の具を使用して景観を思い思いに表現しました。

志村先生は「写真の場合は景観の他に電線など、その場の全てが写ってしまいますが、絵の場合は自分の好きなものだけを描くことができます。題材に選んだ景観はどこから見るのが素敵なのか考えながら描くと、より楽しくかつ理解も深まります」と話してくれました。



◀好きな景観の写真を選んで思い思いに描きました

3歳児 Smile Photo

6月6日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！
(順不同)



きむらゆうじん
木村悠仁くん

6区



すずきあつと
鈴木篤人くん

小見



いしかわまひろ
石川真優くん

みなみ



よこやまけんしん
横山健心くん

上北山



きくちりんく
菊地凜来くん

伏熊



すずきせいな
鈴木星菜ちゃん

藤田



しょうじいおり
庄司伊織くん

藤田



ほりしろむか
堀白向ちゃん

蛭水



あべゆいな
阿部唯花ちゃん

堂屋敷



すずきりか
鈴木里佳ちゃん

蛭水



さたけあやめ
佐竹絢姫ちゃん

美郷

議会 6月定例会

大江町議会第2回定例会が6月4日から6日までの会期で開かれました。今定例会では、一般会計の補正予算や条例改正案などが審議され、原案どおり可決・承認されました。冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので、その内容を紹介します。

行政報告

藤田地区住宅団地整備事業

人口減少の抑制、定住人口の確保のため、藤田地区に20区画程度の住宅団地の造成を進めていきます。予定地は、ヤマコー跡地とその南側の個人所有の土地および町道の一部です。団地内の道路、宅地公園などの配置については高低差や測量に基づき検討していきます。魅力ある住宅団地となるよう設計を進めていきます。

今後、藤田地区や地権者・隣接住民の方々など、関係者に対して事業説明をおこなっていきます。

大江町産業振興公社の決算報告

公社の報告によると、今期は昨年7月の豪雨災害に伴い、町の大きな観光資源である神通峡の閉鎖、県道大江西川線の交通規制などにより柳川温泉の宿泊客が大幅に減少しました。加えて、テルメ柏陵健康温泉館の改修工事伴う、1ヶ月間の臨時休館もあり経営環境は厳しい状態です。

その一方で、テルメ柏陵健康温泉館浴室棟の全面改修や露天風呂の新設など集客競争を勝ち抜くための施設整備、新プラン企画、特産品の物販に力を入れて取り組んできました。

公社が管理する施設全体の利用者数は約54万4千人で、対前年比では3%減、売上高は2億2417万円対前年比4.8%減となりました。最終的な当期純損失は1462万円となっています。

補正予算

平成26年度大江町一般会計の補正予算は、歳入歳出にそれぞれ5140万円を追加し、総額は48億円7270万円となりました。



1

第13回



3



4

①ユリを見ながら公園を散策 ②ポニーのヤギおくんと一緒に ③プレゼントされた風船にお絵かき ④大人気のうさぎコーナー

2

山形D.C直前!! 可憐なヒメサユリに笑顔が集う 大山自然公園ユリまつり

大山自然公園で5月30日から6月8日にかけて第13回大山自然公園ユリまつりが開催されました。公園には可憐に咲き誇るヒメサユリを一目見ようと県内外から5千名の方が訪れました。

また、週末にはウサギやポニーと触れ合う動物コーナーや風船プレゼントコーナーなどが設置され、多くの子どもたちでにぎわいました。





号砲とともに勢いよくスタート

2kmの部

第32回 舟唄健康マラソン大会



5kmの部 (小見給水所)

緑が鮮やかな大江町を
元気いっぱい疾走



4.5kmウォーキングの部



3kmの部



パンダマンも
町内を疾走



10kmの部

第32回舟唄健康マラソン大会が6月22日に開催されました。

大会には、地元の大江中学校や左沢高等学校の生徒をはじめ町内外から401名が参加。最高齢は83歳、遠くは愛知県などからの出場もありました。

選手たちは、号砲とともに勢いよくスタートし、沿道からの「がんばれー」の声援を受け、新緑の大江町を走り抜けました。



6/22 達人たちが喉を競う、舟唄大会開催

全国の舟唄の達人たちがのどを競う、第31回正調最上川舟唄全国大会が6月22日、町民ふれあい会館で開催されました。

今大会には、大江町と交流のある宮城県亘理町をはじめ、県内外から合わせて58名が出場しました。会場には200名を超える観衆が訪れ、力強くも哀愁漂う舟唄の音色を堪能しました。

また、ゲストとして北海道「江差追分」をはじめ、多数のアトラクションも披露され出演者には大きな声援がおくられました。



大会結果 3位まで

- ★一般の部／優勝 佐々木龍雄（寒河江市）
準優勝 佐藤 幸子（宮城県）
3位 鈴木富美子（宮城県）
- ★シニアの部／優勝 大橋 長年（東根市）
準優勝 櫻本 直子（宮城県）
3位 穴戸シロ子（宮城県）

- ①一般の部決勝 ②一般の部優勝者佐々木龍雄さん
- ③シニアの部優勝者大橋長年さん
- ④大江中学校2年生による最上川舟唄混声4部合唱



6/7 まわし姿で豪快にぶつかる

左沢小学校相撲大会が6月7日開催され、全校児童が力と技を競いました。

相撲場では、5・6年生の男子が化粧まわし姿で、堂々とした土俵入りを披露しました。東と西に分かれての取り組みが始まると、土俵上では豪快な投げ技、土俵際の逆転などの熱戦が展開されました。

特に5人抜きでは、なかなか勝負がつかず何度も「水入り」となる取組もあり、応援に駆け付けた保護者からはひと際大きな声援が送られていました。



6/1 自慢の手作り作品が勢ぞろい

工芸愛好家による自慢の手作り作品が集まる、第9回あじさい手づくり工芸まつりが6月1日に東地区公民館で開催されました。

会場では、パワーストーンや木材、紙などを使用した作品の展示や即売会がおこなわれたほか、実際に各種工芸を体験することもできました。

さらに今年は、女子カアアップ講座で作るトマト料理の試食や燻製ソーセージ作りの体験、大きなワンちゃんたちとふれあうコーナーも設けられ、訪れた人たちは、会場を巡り楽しい時間を過ごしていました。



6/14 ふるさとの川の魅力に触れる

ふるさとの川をより詳しく観察し、その魅力にふれる第1回ドキドキ自然体験塾が、6月14日に開催されました。

はじめに、森の宮橋付近の月布川の水質調査に挑戦した子どもたちは、調査票に従い、専用の容器でニゴリ具合や石の裏などに生息している昆虫を調べました。

その後、市野沢川に場所を移動し川のゴミ拾いや魚取りを体験し、子どもたちは、身近にあるふるさとの川に、多様な生物が生息していることに興味津々な様子でした。



6/11 景観の魅力を再確認

高齢者がともに学び親睦を深める、シルバーカレッジが6月11日から始まりました。

今年は67名が参加し、2月まで計5回の学習講座を予定しています。開講式にあわせて第1回の学習講座もおこなわれ、文化庁の鈴木地平技官より重要文化的景観の講演会が開催されました。

鈴木さんは「文化的景観は地域の土地がら、生きざまを表した大事な文化財です。左沢の町並みからは最上川舟運や中世から現代までの発展の歴史を見ることができ、これは全国どこにもないものです」と町の景観の魅力を話してくれました。



6/14 健康イタリア料理に挑戦

手軽でおいしく健康的な料理を学ぶ、食生活改善の第1回研修会が6月14日に開催されました。

今回は「家庭でできるイタリア料理」をテーマに、左沢出身で嶺山形グランドホテルシェフの、林浩生さん指導の下、スズキと貝を煮込む「スズキのアクアパッツア」と「冷製トマトと生ハムのカッパーニ」に挑戦しました。

林さんは「今回はトマトを使用しましたが、地元の野菜や果物でも代用できます。ぜひ家でも実践してみてください」と話してくれました。



6/14 デスティネーションキャンペーン DC初日レトロバスツアースタート

山形デスティネーションキャンペーン初日の6月14日、レトロバスツアーが始まりました。

この企画は、大正時代に計画されたものの、実現に至らなかった、左沢駅と白鷹町の荒砥駅をつなぐ左荒線をイギリス製のレトロバスで巡るというものです。左荒線の沿線にある大江町、朝日町、白鷹町の3町による広域観光推進協議会の主催によりおこなわれ、今年で5年目になります。

当日は、山形市などから募集定員となる8人が参加し、大江町の重要文化的景観や朝日町の椹平の棚田、白鷹町の黒滝開削跡などを巡りました。

町長 コラム Column

農村にさまざまな機械が入ってきた頃「何馬力か？」とよく話題になった。今は機械の大型化が進み、象のようないくつかの馬力というよりも、馬100頭分の力がどんなものか。大きいことはいいことなのか、小さくても「びりりと辛い」ということもある。「百俵でも、百回に分けて運べば必ずできる」近所で馬を飼っていたおじいちゃんの言葉の意味は、深く重い。人口減少の数字がはじかれている。集落消滅、田舎と都会、田舎と工業地帯…。大都市と地方の景観は大きく異なるが、暮らしの中身はさほど変わらないという見方もある。暮らしのなかで、便利さと不便さをどの程度で満足できるか、満足の限界に挑戦し続けるのか。集団の満足度を高める人口論が、静かに自信を持って語られ始めている。量より質ではないかと。

「なぜ人間は集まるのか」という宿題はまだ終わってわけではない。移住し、住みつくという人間行動の「引きがね」には「夢とロマン」がいつばいある。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.13

中央通商店街のほぼ中央に、林武一郎商店があります。屋号は「山吉屋」で、以前は大工を生業にしていたことから付けたといわれています。明治29年に初代林武一郎が八百屋をはじめから、お店に「林武一郎」の名前が着くようになったといわれ、現在4代目です。今は酒を中心に販売している一方で、お店の一角ではたい焼きやたこ焼きも販売しており、酒屋とのコラボレーションの魅力に誘われて、多くの方が訪れます。

敷地は南北に短冊状に配置されており、母屋は昭和11年の大火後に建てられました。通り沿いに店と母屋があり、続いて明治頃に建築された土蔵が、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

屋号が入ったのれんが飾られています▶



林武一郎商店



簡易マップ



短歌

初夏の風通る御堂に正座して亡き父偲び詩吟吟唱す

菅井 妙子

山峡の緑も映る湯舟に入り含む岩水木の葉が匂う

菊地つねよ

紫陽花の色まだ浅き庭にいで梅雨の合間を草取り励む

堀 トヨエ

窓開けてよく見聞きせむ下校時の子等のスキップ子等の笑いを

山家 重之

香り立つラベンダーの花手の甲でふれて喜ぶ孫の横顔

長岡 和子

この年も娘にもらしいさくらんぼ皆なで分け合い句を楽しむ

佐竹 麗子

何シタノヤと声をかければお互いに朝の挨拶ほのほの和む

佐竹 與鼓

ここ大江まちにも空き家の数ふえて鎮まり返り時の寂しさ

伊藤 和子

老しれて食欲細くなりけり祇園の茶室の昔なつかし

斎藤 徳治

俳句

新緑やシュベルト音色に陶酔す

菅井 妙子

昼下がりに老母と食べる冷奴

山家 重之

入学のはにかむよろこび孫送る

鴨田富士夫

霧の中楚々たる風情ヒメサユリ

今井 茂樹

子燕も川面に遊ぶ最上川

阿部 一風

風少し冷えて方緑日昏れ初む

秋元喜一郎

父逝きし空を仰げる山法師

安藤由美子

父の日の酒はめつばふ利きにけり

熊谷 勉

マッチ箱紫陽花といふ喫茶店

舟山 三男

父の日の顔ゆがませて髭を剃る

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



「お客さまの要望にあわせて、たくさんの可愛いワンちゃんをカットできる場所がいいですね。とくにプードルのカットが好きです」と話す菊地さん、現在はトリマーとして愛犬の美容などを手掛ける「やまがたケネル」に勤めています。

小さい頃から犬が好きで、高校卒業と同時に専門のスクールに入学し、カットや犬の体の構造、接客などトリマーになるための勉強を積み重ねてきました。現在はプードルとチワワの2匹を飼っているそうです。

職場の他に、土曜日から月曜日まで自宅でも犬のカットをはじめた菊地さんは「私がカットしたワンちゃんを見て、お客さまが『かわいくなったね♪』といってもらえる時が一番うれしいです。喜んでもらえるように頑張るのでぜひ一度遊びに来てください」と笑顔で話してくれました。

菊地

里美さん

(26歳・9区)

大好きな犬とともに

地域おこし協力隊通信

No. 3



「わがいしゅがもう少しずっと、楽ななつたなねえ」。草刈り真っ盛りの今、そんな声が地域の中から聞こえてきたり…。仕事がない、だから若者が離れていく。「～がない」という考えもありますが、それだけではないと思います。

今の若者は、リーマンショックによる不況で雇用不安を感じ、東日本大震災を経験したことで、新たな地域社会の模索を始めました。

自分にとって本当に大切なものは何なのか、様々なアンケート調査では「地元」「家族」を重要視するようになったという回答が増え、「できれば地元で働きたい」「都心から離れて暮らしたい」という人が増えてきています。

だからこそ、足元の「地域」の魅力をあらためて見つめ直すチャンスのような気がします。若者自身も含めて「地域がどう動くか」が大切で「楽しいなあ。好きだなあ。この地域。」と感じれば、なんとしても残りたい場所になるのではないのでしょうか。

「なんにも知らない最近の若いもん」は、何を求めているのか。その答えが分かった時、自然と草刈りにも人が増えている状況になると思います。



↑夏山にタケノコ採りにいってきました



6月22日の消防団機関員講習時の様子

お知らせ

Information

大好評！雪室熟成 「大江錦初しぼり」発売

高い人気を誇る大江町の地酒「大江錦初しぼり」を雪室で6ヶ月間熟成させた、雪室熟成が発売されます。いつもより「まろやかで、うまみの増した」大江錦をぜひご賞味ください。詳しくは町内各酒販店まで

◆発売日／7月18日(金)

◆価格／720ml 1250円

町民プールオープン！

◆開放期間／7月19日(土)～8月17日(日)

◆時間／10時～16時30分（昼休み12時～13時）

◆料金／小人50円（中学生以下）、大人100円※乳幼児は無料ですが、付き添いの方は有料です

◆入場券販売所／井筒屋書店（左沢）、最上屋菓子店（左沢）、鈴木酒店（小漆川）、セブンイレブン大江本郷店（小漆川）

※お問い合わせは、大江町体育センター ☎(62) 3663まで

障がいをお持ちの方に関する 各種手当のお知らせ

①特別児童扶養手当

◆対象／重度～中度の障がいを持つた子どもを在宅で養育している方

◆支給期間／20歳に達するまで

◆支給月額／1級障害49,900円、2級障害33,230円

◆支給月／4・8・11月

②特別障害者手当（障害児福祉手当）

◆対象／重度の障害を持ち、在宅で生活している方

◆支給月額／障害児福祉手当（20歳未満）14,140円、特別障害者手当（20歳以上）26,000円

◆支給月／2・5・8・11月

※お問い合わせは、健康福祉課係 ☎(62) 2285まで

平成26年度第2回 大江のうまいもの市開催！

第2回の大江のうまいもの市は、おいしい鶏料理を楽しめる「鶏の市」をおこないます。

◆日時／7月20日(日) 10時～15時

◆場所／左沢駅前広場

◆イベント／大江町産やまがた地鶏新庄市「もつらボ」、福島県三島町「会津地鶏みしまや」の出店、お楽

しみ抽選会、ばくだん菓子プレゼント、フルーツトマトプレゼント、ミニSSL、ミニライブ

重要文化的景観をPRする 看板が設置されました

「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が国の重要文化的景観に選定されたことを受け、大江ロータリークラブが左沢駅前には、より多くの町民の皆さんに、景観を作り上げてきた先人に感謝の気持ちと、ふるさとに誇りを持ってもらいたいという気持ちが込められています。

看板設置にあたり、設計や基礎工事の手伝いなど全ての行程に大江ロータリークラブの会員が深く関わっており、また、主材料は大江町産西山杉を利用しています。左沢駅を訪れた際はぜひご覧ください。



◆申込期限／7月18日(金) ※参加費無料

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62) 2114まで

平成26年度第3回大江のうまいもの市出店者募集について

大江のうまいものを町内外に幅広く発信し、地域の活性化を図る「大江のうまいもの市」を次のとおり開催します。出店者を募集します。

◆日時／9月7日(日) 9時30分～14時

◆場所／左沢駅前広場

◆出店要件／町内の企業、商店、個人および団体で実行委員会が認めるもの※出店料は無料ですが、抽選会の景品（2000円相当）の提供を

生活習慣病予防教室 「食べて予防！糖尿病」の開催

◆日時／7月25日(金) 10時～13時

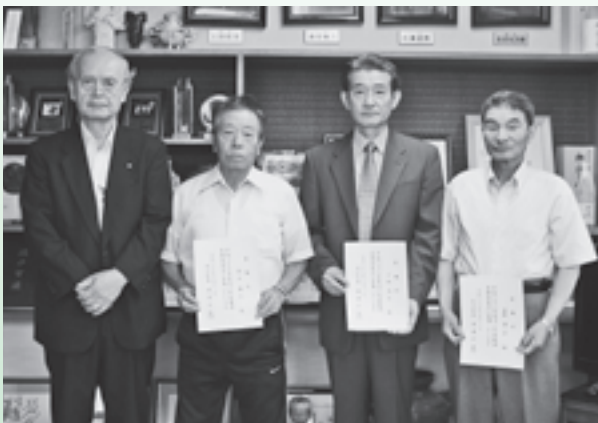
◆場所／保健センター

◆内容／講話、調理実習、試食

◆講師／成原千枝管理栄養士

※お問い合わせは、大江町商工会 ☎(62) 4128、または政策推進課 ☎(62) 2139まで

今年度の地籍調査推進員の皆さんです



今年度の地籍調査推進委員の委嘱状交付式が6月12日におこなわれました。

委員の皆さんからは、現地立ち合いの代理や、所有者の取りまとめなど、円滑な地籍調査をサポートしていただきます。

今回委嘱された委員は次の3名になります。

- 富樫誠一郎 さん (柳川平) (写真右から)
- 小林 茂吉 さん (山形市)
- 鈴木 藤七 さん (朝日町)

大江町山森林資源活用事業の実施団体が決定しました



大江町山森林資源活用事業の実施団体として、町では6月10日、町内で森林に関するさまざまな活動を続けている大江町光林会(鈴木富太郎会長)に委嘱状を交付しました。

この事業は山村地域の魅力的な資源や森林が持つ多様な機能を保全するため、さまざまな活動を実施するものです。

今年度については、七軒地区の各種道路・河川の巡視や地域資源を活用した山里体験の活動、旧七軒西小学校周辺環境整備などをおこなっていく予定です。

お願いします

◆締切/7月25日(金)

※お問い合わせは、大江町商工会

☎(62) 4128または、政策推進課

☎(62) 2139まで

水郷大江夏まつり大会では記念花火を募集しています

大江の夏の風物詩、水郷大江夏まつり灯ろう流し花火大会で花火を打ち上げてみませんか。

◆価格/5号玉10,000円

※ご予算に応じて御相談します。

◆申込締切/7月18日(金)まで

【レトロ写真展】

旧きらやか銀行内にて、昔の貴重な写真を集めた「レトロ写真展」を7月13日(日)まで開催しています。タイムスリップできる空間へ、ぜひお越しください。

※お問い合わせは、政策推進課観光振興係 ☎(62) 2139まで

コイヘルペスウイルス病のまん延防止について

水温が高くなると、コイヘルペスウイルス病が発生する可能性があります。まん延を防ぐため、コイの大量死や異常を発見した場合は、左記まで通報ください。また、釣ったコ

イや飼育しているコイを、他の川や池などに放流することは禁止されていますので、御協力をお願いします。なお、コイヘルペスウイルス病は、コイ(マゴイおよびニシキゴイ)特有の病気であり、コイ以外の生物や人間には全く影響がありません。

・村山総合支庁農業振興課

☎023-621-8384

・山形県内水面水産試験場

☎0238-38-3214

・山形県水産課

☎023-630-3071



編集

後記

でも地元の方から大切に祀られています。バスや車で通った時は、一度立ち寄ってみるのもいいかもしれません。

(山家雄志)

ス クールバスの旅を編集するにあたり、巻渚の「地蔵様の由来」を知りました。昔、朝日町から西川町に地蔵様を届けようとしたところ、途中の巻渚で地蔵様を積んでいた台車が壊れてしまいました。運んでいた人はいろいろ悩んだ末「これは、地蔵様がここに居たいというお告げだ」と解釈し、以降ずっとここにありとすることです。何ともほのぼのとした話ですね。地蔵様は、今



「古代ロマン」4区 川村 隆

リレー随想／ 《第85回》

重要文化的景観

認定をたたえて

私は大江町に住んで以来50年、町の景観を見てきました。大江の景観は風光明媚にして、地形は起伏に富み、楯山からの眺望は母なる川、最上川を眼下におさめる雄大な景色で、天下一の眺望だと思つています。

今回その景観が重要文化的景観に選定されたことともうれしく思います。この機会に、大江の景観のことを書きたいと思つています。

私は大寿荘から小鳥山まで、藤田山の北岸を散歩しますが、途中の小見地区を見下ろすことができる高台に来ると必ず立ち止まります。

そこからは、広大な小見地区の水田と小中学校、そして西に月山、北に葉山、中央に楯山を眺めることができ、一服の絵巻物となつて吾々の胸をふくらませてくれます。

その真下の料亭「丸金鯉屋」さんにお世話になつたお礼も、北側の窓からの光景に感動を覚えたことが思い出されます。

「丸金鯉屋亭をたたえて(平23)

高台の料亭水郷を拝し

月山葉山両手に戴く

庭前の鯉躍る龍岩の滝

家族一同客衆を饗す

この庭の滝は、5メートルもある大きい岩石からなつていますが「名前が無いのなら『龍岩の滝』と名付けて良いですか」と私が許可をいただいて名付けたものです。

私たちは、また喜久屋亭の東西の間から、重要文化的景観を眺めることもできます。私は、柏流会や老人クラブなどの会合で、この部屋を利用していただきますので、この景観の認定は誠にありがたいと、幸せな町に巡り逢つたと胸を張つています。

拙いながら、その光景への感動と喜久屋さんをたたえて次のように表現しました。(笑覧下さい)

「その一、東の間からの眺望(平21)

天下の眺望最上の流れ
開亭悠々たり三十余年
百花満堂客衆を招き
美酒団欒楯山を仰ぐ

「その二、西の間からの眺望(平23)

朝日の峻嶺西空に聳え

神通の溪流豊田を潤す

高台の料亭満天の花火

微風清涼月山を仰ぐ

このように素晴らしい景観を持つ故郷をいつまでも大事に継承していきたいものです。最後に何を置いても大江町をたたえる「左沢八景」の詩が燦然と輝いております。ご紹介します。

左沢八景(国井独石作詞・高山法彦監修)
「桜瀬の帰帆懐旧の情」

古城白日晴嵐みちたり

鏡山の秋月三更の影

森の宮の廟林夜雨の声

巨海院の鐘は晚靄に聞き

前田の落雁は雲程に見る

水天夕照川口を染め

愛石の山陣暮雪清らかなり

この詩の中の地名、名所、旧跡などを念頭に描きながら、今後一層大江町の景観のすばらしさと、それを甘受する私たち町民の心の豊かさを大切にしたいものです。

(藤田 田宮孝一)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
小見	榎本 花琉	女	弘・由紀
美郷	田中 秀穂	男	剛・志穂
小漆川	北本 翔琉	男	一考・瞳
8区	菊池 梨花	女	亮太・ひろえ
伏熊	石川 彩	女	聖・由香
6区	木村 夢人	男	不二夫・七恵

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(富沢)	斎藤 健裕
(山形市)	須貝 奈未
(上市市)	柴田 真暉
(藤田)	東海林 夢亜



ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	堀 かよ	(90)
9区	鈴木みのゑ	(84)
楯山	安藤 勝美	(88)
富沢	柏倉 恒雄	(87)
6区	大泉 忠男	(82)
塩野平	渡邊重次郎	(97)
望山	柏倉 久信	(59)
9区	堀 フテノ	(102)
久保	柏倉 憲三	(86)
藤田	稲村 禮子	(86)
13区	阿部 かつゑ	(98)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,903人(-11)
男	4,370人(-7)
女	4,533人(-4)
世帯数	2,930戸(+1)

平成26年7月1日現在

戸籍の まど

5月21日～6月20日受付分